

第40回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和元年7月9日（火） 10:00～12:20
2. 開催場所：秋葉原ダイビル 18階 第3会議室
3. 出席者：渡邊・阿部（東北大学）、室屋（大阪大学）、山下（東京大学）高木・山本（東芝ESS）、久宗（WANO）、杉野（日本原電）、込山（東京電力HD）、赤峰（関西電力）、荘田（三菱重工）、長瀬・伊藤（日立GE）、河村・藤原（電中研）、大橋（オルガノ）、内田・塙（JAEA）、（オブザーバ 山口、石丸（北陸電力）） 【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について、一部修正の上、了承された。

(2) 委員の交代について

林氏（東京電力HD）が人事異動により退任となり、込山氏（東京電力HD）が代行者として選任された。

(3) 第37回 定例研究会について

杉野委員より、資料に基づき第37回定例研究会の案について説明がなされた。

開催日は、事前のメール審議により11月14日（木）で決定済み、場所は北陸電力（株）石川支店 金沢電気ビル2階大ホールとする。基調テーマについて、提案された「～最新計測技術」の記載は誤解を生む可能性があるため、「難測定核種の最新分析手法」などテーマ名を再考することとなった。また、定例研究会の開催案内では、空港からのアクセスを追加した方が良い旨のコメントがなされた。

(4) 2020年春の年会企画セッションについて

山本委員（企画担当）より、資料に基づき2020年春の年会企画セッションへの対応について説明がなされた。

水化学ロードマップの改定が終了することに鑑み、ロードマップに関連する技術テーマをトピックスとして選定する方向で検討を進めることを確認した。時期としては、2020年春の年会は見送り2020年秋の大会を目指して検討を進めることとなった。2020年秋の大会におけるテーマについては、次回運営小委員会までに企画担当委員が提案を集約し、次回の運営小委員会で議論することとなった。なお、2020年春の年会ではシビアアクシデント時の核分裂生成

物挙動研究専門委員会に係る企画セッションを予定していること、プラント長期停止中の水化学管理についてはテーマの一つになり得ることが補足された。

(5) 2019 年秋の大会企画セッションの準備状況について

山本委員（企画担当）より、資料に基づき 2019 年秋の大会企画セッションの準備状況について報告がなされた。

開催日は令和元年 9 月 12 日となったこと、会場からのコメントを関連部会から頂ける予定であることが報告された。

(6) AWC2021 の日本開催に係る準備状況について

阿部委員（AWC2021 WG 担当）より、AWC2021 の日本開催に係る準備状況として、会場は当初予定した東北大学片平さくらホールからサイエンスキャンパスホール（青葉山キャンパス）に変更となることが報告されるとともに、案内状の案が示された。

また、以下の議論がなされた。

- ・技術セッションの期間として 10 月 19 日（火）～21 日（木）を確保しているが、材料関係のセッションを含めるか否かで開始日を決定する（水化学のみの場合は 10 月 20 日～21 日の二日間、材料関係を含める場合は 10 月 19 日～21 日の三日間）。

- ・10 月 21 日（金）にテクニカルツアーを設定する方向で検討する。

- ・トピックスエリアについては、PWR と BWR を区分し例えば「PWR primary water chemistry、PWR secondary water chemistry」「BWR water chemistry」とする、FP 関係を議論する「Accident water chemistry」を追加することを検討する。

- ・Abstract の締切りは 2021 年 1 月～2 月頃に設定するのが良い。

- ・Full paper については必須とせず、Extended abstract も可とする。

- ・今後の案内作成において、コンタクト先は東北大学原子炉廃止措置基盤研究センター支援室とする。

(7) 2019 年度部会報の目次案について

長瀬委員（広報・編集担当）より、資料に基づき 2019 年度部会報の目次案が説明された。

目次案については、次回運営小委員会で更に具体化することとなった。また、特別寄稿についてはシビアアクシデント時の核分裂生成物挙動研究専門委員会の活動について同委員会委員の逢坂氏に依頼することも一案として検討することとなった。

(8) ワーキンググループ（WG）のホームページ公開、ホームページ WG 及びサマリーセミナーWG の設置について

埴委員（庶務担当）より、資料に基づき WG のホームページへの公開に向けた対応方針が説明された。定例研究会 WG については、定例研究会のみならず企画担当がカバーする活動の WG としてその範囲を広めに捉えるのが良い旨がコメントされた。

長瀬委員（広報・編集担当）より、ホームページ管理 WG の設置について資料に基づき説明がなされた。ホームページの改訂作業については、大学の学生とアルバイトの雇用契約を結び対応を進めることとなった。報酬金額については、担当部会で決めることが可能（学会事務局に確認）であることから、依頼する作業量を見通して金額を決めることとなった。

埴委員（庶務担当）より、資料に基づきこれまでのサマーセミナーの開催実績等が説明された。2020 年度が次回サマーセミナーの開催時期であることから、サマーセミナーWG を立ち上げるとともに日立殿に担当頂くこととなった。

(9) 水化学ロードマップのフォローアップ状況について

河村委員（ロードマップ WG）より、資料に基づき水化学ロードマップフォローアップ検討の進捗状況について報告がなされた。

(10) 水化学ハンドブックの改訂について

杉野委員より、水化学ハンドブック改定 WG の検討状況について報告がなされた。次回の WG 全体会議が 8 月 22 日に予定されている旨が周知された。

(11) 2019 春の年会における講演賞の選考状況及び AWC2019、2019 秋の大会における講演賞の選考委員について

埴委員（庶務担当）より、資料に基づき 2019 春の年会における講演賞の選考状況について説明がなされた。また、AWC2019、2019 秋の大会における講演賞の選考委員を指名し、選考する講演の分担についてはプログラムが公開されてから調整することとなった。

(12) NPC2018 の報告書について

久宗副部長より、NPC2018 の報告書の取り纏め状況が報告された。

(13) シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動研究専門委員会について

内田顧問より、資料に基づき同専門委員会の活動状況について報告がなされた。同委員会の活動の軸足は水化学部会にあるが、水化学部会に軸足を起し続ける事の是非について議論がなされた。同研究専門委員会は水化学に強くリンクするものであり、水化学部会が主体的に関わる方向で引き続き議論することとなった。

(14) その他

高木副部長より、AWC2019 への参加申込状況等や AWC2019 の場で 5 分程度での AWC2021 の紹介を依頼されていることが報告された。

以 上